



創立135周年 広い心



学校便り 21号

令和3年 11月10日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 松原 伸一

「命を守る」 そのためにはどうしたらいいのか？ 地震・津波避難訓練

11月4日（木）の2、3校時に地震が起きてその後津波が発生したということを想定した避難訓練が行われました。地震発生時には校内放送が流れ、全員机の下に身を隠していました。その後、外への避難を開始。校門前の駐車場へ避難しました。全園児・児童の人員を確認すると今度は津波発生との連絡が入りました。

より高く安全な場所への避難をしなければなりません。5、6年生が幼稚園児の手を取りながら、多くの学年もその後が続いて、狩俣中学校まで避難しました。急ぎ足で、とにかく早く避難することを考えてみんな真剣な表情でした。

狩俣中学校に到着し、全員がそろうまでには約13分かかりました。幼稚園児や低学年の児童にとっては、不安でとてもきつかったと思いますが、高学年のお兄さん、お姉さんが、「大丈夫だからね。」「おしゃべりしないで、早く逃げるよ。」という優しい声かけに安心した様子でした。緊張感を持ちながらみんな一生懸命に避難行動をとっていました。

いざという時に備えて、「命を守る」行動をとることができるように学校では毎年避難訓練を行っています。ご家庭でも、もしも家にいるときに地震・津波が起こったらどうするか、親子でも話し合ってみてください。



たくさん学び、たくさん遊んだ地域学習会(秋の遠足)！！

11月5日（金）8時40分～13時30分に施設見学を兼ねた秋の遠足が行われました。春の遠足と同じように今回も宮古島市教育委員会のバス（運転手付き）を借用し、園児・児童全員で池間島の海散策、クリーンセンター見学、パイナガマ海空すこやか公園での交流会を行いました。

教育委員会の大きなバスには幼～4年生、学校車には5、6年生が乗車し、天気にも恵まれ楽しく過ごすことができました。

クリーンセンターでは、私たちの家庭から出るゴミがどのように処理されているのか、実際にセンターの中の様子を見学しながら、職員の上原さんに丁寧に説明していただきました。運ばれてきているゴミの様子や動いている機械を見て、「うわあ～、あんなにたくさんゴミがある。」「すごく大きな機械で運んだり、かき混ぜたりしているよ。」と驚いた表情の子どもたち。

上原さんからは、「今日見学したことを、おうちの人にも話して、『できるだけゴミを出さない』『分別（ゴミをきちんと分ける）をしっかりと』『まだ使えるものは使う』ことなどを考えて行動して欲しい」というメッセージをいただきました。



パイナガマ海空すこやか公園では、思いっきり遊んでお腹がグウ～。待ちに待ったお弁当にみんな笑顔。お母さん、お父さん、美味しいお弁当ありがとうございました。思い出に残る1日となりました。